



持続可能な開発目標に関する両国の課題解決に関する学際的研究 (環境対策・畜産農業・農村社会・環境教育・コミュニケーション研究)

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

本研究所は、SDGsに関する課題解決を第1項に掲げる国際共同研究所第5次基本合意書（2024年6月締結）に基づいて、中国の関連大学と学際的研究を推進しています。2025年10月には、島根大学で第22回中日国際学術セミナーを開催しました。全体テーマを『農業生産力の質的发展と環境保全-日中両国の農山村から考えるSDGs-』とし、持続可能な発展、伝統産業のグリーン転換、人材育成、社会サービス等の分野に関わる課題を中心に報告が行われました。

また、研究所が形成する西部学術ネットワークを通じて、西北農林科技大学、人民大学、立命館大学等と共同で国際フォーラム、個別セミナーを開催しています。



■現在実施中の共同研究課題

寧夏大学（寧夏回族自治区銀川市）他

アグロエコロジーへの転換と
経済・環境・社会の持続可能性評価

概要：自然生態系を生かした持続可能な農業（アグロエコロジー）を実践する農家に対して経営分析、環境影響評価、消費者との直接取引や相互交流など、経済・環境・社会の側面から持続可能性評価を行い、「持続可能な食と農」の確立に向けた経済・環境・社会的な存立条件を明らかにすることにより、「持続可能な食と農」の確立を実現する。



中国人民大学経済学院（北京市）

東アジア型の持続可能な農業・農村モデルの
確立に向けた実証研究

概要：島根県内において萌芽的に展開している「持続可能な農業・農村モデル」の実践例を日中比較の観点から事例分析し、中国人民大学がこれまで取り組んできた「農業・農村における近代化・現代化の日中比較」の研究成果と総合化することで、「東アジア型の持続可能な農業・農村モデル」を理論的・実証的に明らかにする。

